



全労連青年部ニュース

YOUTH TOPIC



つながる・たたかう・支えあう青年部を

ホームページ<http://www.zenroren.gr.jp/jp/seinen/>

ブログ<http://blogs.yahoo.co.jp/zenrourenpower>

全労連青年部とは??? 9単産19地方組織の青年部が集まって、青年労働者の声を集め、学習や最低賃金引き上げ、他の青年団体と一緒に雇用、核兵器廃絶・平和などの問題に取り組んでいる労働組合のナショナルセンターです。

若者の要求アピール大作戦inメーデー『沢山集まる』

5月1日全国で行われた第85回メーデーでは各単産、地方青年が思い思いに色々なグッズを用意して取り組みました。全労連青年部では、若者のメーデー当日の参加を促進するとともに、全国がひとつになって取り組む企画をやろうと議論し、メーデーでの若者の要求を集めようとして『若者の要求アピール大作戦 in メーデー』と呼びかけました。若者でメーデーを盛り上げよう、若者の要求を発信しようという企画、この呼びかけに沢山の反応がありました。現在来ている写真の枚数では80枚を超えています。

全労連新聞

第454号より

大反響! 若者の要求アピール大作戦



アイデア満載の アピールに誰もが共感

全労連青年部は、メーデーに取り組む全国の若者をひとつにつなげ、要求をアピールする写真をインターネットなどで発信する「若者の要求アピール大作戦」に取り組んだ。巨大なデコレーションや、鯉のぼり、「安倍暴走列車」などアイデア満載のアピールグッズに、「休みがほしい」「賃金が低すぎる」「人手を増やして」「安心して子育てしたい」などの要求をこめて、楽しく自分の言葉で訴える姿が共感を広げている。

※カッコ内は組合名と都道府県名 ①右・人気マンガのパロディーでブラック企業根絶をアピール、左・憲法を守ろう (日本機関紙印刷所労組、東京) ②消費税に国民は押しつぶされる! (東京土建多摩・稲城支部) ③安心して子育てしたい (光陽メディア労組、東京) ④原発いらない! 子どもたちの未来が大事 (岡山市) ⑤メーデー当日は仕事だった

けど非正規でも家計を支えられる賃金を (コープネットグループ労組、新潟) ⑥ベースアップ(にちなんで熊 (英語でベアー) の横断幕 (盛岡医療生協労組、岩手) ⑦インターネット掲載不可の高利回りでした。 ⑧看護師ふやして (北海道医労連) ⑨希望する日に休みたい (健和会労組、福岡) ⑩要求カードの鯉のぼり「青年の要求よ!!」大

空に舞え!!! (広島県医労連青年部) ⑪宮城の最賃は安すぎる (みやぎ青年ユニオン) ⑫TPP参加に反対 (国労、静岡) ⑬安倍「暴走列車」橋下「暴言列車」にストップを (医療労組おおさか) ※事前のアピールでメーデーと大作戦への参加を呼びかけた一〇全労連青年部 ⑭自治労連青年部 ⑮全労連四国地協青年部

北海道



青森



←宮城



いわて



↑全教青年部



兵庫



↑大阪



←自治労連



←全労連



←静岡



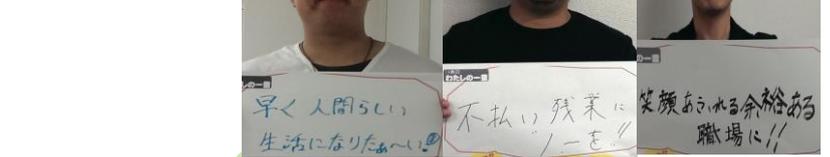
← 広島



← 岡山



↓ 生協労連



↓ 北九州



↑ 生協労連全労連四地協青年部

要求を掲げ続け変えていく!!

全労連青年部岡崎加奈子部長が東京・中央メーデーで発言、全労連青年部が提起している「若者の要求アピール大作戦 in メーデー」で、青年が要求を掲げる取り組みを紹介しています。以下、発言要旨。



メーデーで発言する岡崎部長

これまでも青年が多様なアピールでメーデーに参加していますが、より多くの青年に参加してもらい、青年に要求を掲げてもらうことを目的で取り組んでいます。

今日も全国様々な場所で行われているメーデーに青年が参加しています。その姿を写真に納め、Facebookなどで発信することで、全国をつなぎながら、青年がメーデーを盛り上げ、同時に青年に要求を掲げることの大切さを実感してもらう取り組みとなっています。今、青年労働者を取り巻く状況は厳しいです。「非正規が当たり前」「就職ができない」「一人暮らしがしたくても賃金が安くてできない」「将来に希望がもてない」青年から聞かれる声です。中には、「自分一人が言ったって変わらない」といい、声を上げることを諦めかけている青年もいます。メ

ーデーの起源でもある要求を掲げること、私たちは忘れてはいけません。19世紀の終わり、1日の労働時間が12時間から14時間が当たり前でしたが、私たちの先輩の世界の労働者が要求を掲げ、労働時間8時間を勝ち取りました。私たち青年も「言ったってかわらない」と思っている今の状況を、要求を掲げ続け変えていくこと、そのことが大切です。今の社会は声を上げていかななくては、どんどん悪い方に変えられてしまいます。「声を上げ続けること」私たちの先輩労働者がずっと続けてきたことですし、私たち青年も声を上げることをし続けていきます。私が掲げる要求は「青年がイキイキと働き、将来が展望できる社会を！」です。青年が仕事にやりがいを感じ、そして自分のたった一度きりの人生を明るく、楽しく過ごせるそんな社会に変えていくために、私もみなさんとともに声を上げ続けたいと思います。メーデー万歳!

平和行進始まる 歩こう核兵器のない世界



Nonukesのこいのぼりを付けた付けた先頭カー

国民平和大行進が5月6日、東京・江東区の夢の島と北海道礼文島からそれぞれ出発しました。この日から約90日かけて広島まで行進をつなげていきます。全労連青年部はRing!Rink!Zero実行委員会（以下・実行委員会）に結集し平和行進の一日目を大きく盛り上げました。

6日の参加は800人で7日の参加は180人（午前中）でした。

6日はあいにくの曇り空で肌寒い中を夢の島に800人以上が集まり、東京都港区の東京タワーの麓、芝公園まで歩きました。実行委員会は、スタート集会で風船・うちわの配布、行進中は先頭隊列での盛り上げ・沿道でのうちわ配布を行いました。要員をお願いした方として約30人の協力とともに、行進参加者からも先頭の隊列に参加もありました。実行委員会では夢の島で宣伝カーの飾りつけや風船の用意、うちわの用意をしました。

初めて参加した福島の青年からは「これだけの人数が歩いているのを見てすごいと思った。あと、行進が長くて足が疲れたが、沿道の人がうちわを決行受け取ってくれてうれしかった」などと感想。「頑張ってください」と声をかけられたり、自称「転勤族」というおばさんに「平和行進は広島まで歩いています」と伝えると「うちも昔は広島に住んでいて原爆ドームも行ったことがある。みなさんえらいわ

ねー。頑張ってね」とエールを送ってくれました。

東京駅から銀座周辺では人通りが多く、受け取りは少し鈍かったけれど、「平和行進です。核兵器をなくすために歩いています」と声をかけながら配っていると、若い人も含めて受け取ってくれました。中には信号待ちしていた若い女性が「私にも下さい」とうちわを受け取ってくれました。

7日は芝公園から川崎市の川崎市役所までの行進でした。前日と異なり朝から天気がよく、行進にはよかったです。途中からうちわの配布も始まり沿道や参加者から「うちわをください」と声をかけられる一面もありました



Nonukesのこいのぼりを持って行進する参加者

【平和行進写真提供：平和委員会他】